

新しい学校における子どもたちの学びのスタイル

令和4年1月



常総市の子どもたちのために

新しい学校における子どもたちの学びのスタイルについて ご理解・ご協力をお願いいたします

現在、文部科学省や茨城県教育委員会では、「学校における働き方改革」を推進しています。日々変わりゆく社会の中で、夢をもって未来を創る子どもたちの力を育くむためには、教員が本来の業務に専念し、教育の質を高める必要があります。

本市でも、教職員の長時間勤務の実態を踏まえ、教員の働き方や環境を改善することで、**先生方が毎日元気に子どもたちの前に立って、未来につながる力を育む教育**が行えるよう、様々な見直しを行っています。各学校においても、日程表の見直しや業務の削減・効率化など、多様な視点から具体的な取り組みを模索しています。

新しい時代に対応する学校教育の推進のために、皆様のご理解ご協力をお願いいたします

【茨城県の目標】

時間外勤務(原則) **月 45時間以内**
(年 360時間以内)

※放課後、土日祝日の時間外勤務を含む

○教員の長時間勤務の深刻化

教職員の時間外勤務の月平均

小学校約59時間/月

中学校約81時間/月

(H28 文科省)

※月80時間超えの解消

様々な視点から見直し、新しい時代に対応する学校教育へ

- 毎日の日課や下校時間の見直し
- 運動会や授業参観など学校行事の在り方
- ICTを活用した学習の進め方
- 部活動の活動時間や休養日
- 定時退勤日や完全退勤時間の設定 等

その他(これまでの取組)

- ・学校閉庁日(8月中旬、県民の日)
- ・校務のデジタル化
- ・教職員の勤務時間の管理 等

★子どもたちの心身を豊かに育むためには、地域・家庭におけるかかわりも不可欠です。登下校の見守りや外部講師、PTA活動などで皆様のお力が必要です。子どもたち自身が地域・家庭・学校とのつながりを実感できるよう、今後とも連携・ご協力をお願いいたします。(常総市教育委員会)



夢をいただき 未来を創る ほっとな絆の 常総教育